



ドウランゴ



Lariz Torre, 2 - 48200 DURANGO (BIZKAIA) TEL +34 94 603 39 38 Email turismo@durango-udala.net

ドウランゴ



700年以上の歴史と
美しい自然に囲まれたバスクの村



ドウランゴとは？

ドウランゴは、スペイン北部、バスク自治州ビスカヤ県にある人口2万8千人強の中都市です。

緑の多い山々に囲まれた美しい谷間に位置し、アンボト山とウリキオラ国立公園にほど近い、他では類を見ない自然環境に囲まれ、アウトドア派にとってはあらゆる可能性に満ちた地域といえます。

また、この地域では、バスク語とスペイン語の2言語が話されています。

この村には、非常に近代的なインフラが整備されていますが、ドウランゴ人特有の友好的な性格を抜きにして、この村を語ることは出来ないでしょう。これは、私たちの最も大きな宝であり、ひとたび訪れた人たちはきっとその特徴を感じ取ることができるはずです。

村の歴史地区を訪れれば、力強さと謎を秘めたラリスの塔、サンタ・アナ教会、サンタ・アナ門、多彩色のファサードが特徴的な市庁舎、バロック時代のエチェサレタ宮殿にある歴史・芸術博物館、サンタ・マリア・デ・ウリバリ大聖堂、タビラのサン・ペドロ教会など、700年以上の村の歴史に触れることができます。

そして何といても、ヨーロッパ中でも稀有の芸術品といえるクルツィアガの十字架は、必見です。

ドウランゴの美しい自然と長い時間がはぐくんだ歴史、
そしてドウランゴ人のあたたかい心に触れてみてください。





ドウランゴの起源

ドウランゴの村が作られた正確な日付は、明らかになっていませんが、ほとんどの歴史学者たちは、12～13世紀頃としています。

ただし、ドウランゴという名前は11世紀には現れています。

村は城壁に囲まれ、歴史地区にはアーモンドの形をした中世特有の植物が生えていました。

城壁には村に通じる6つの門がありましたが、現存しているのは、サンタ・アナ門と両端にある2つの教会—サンタ・アナ教会とサンタ・マリア・デ・ウリバリ教会のみとなっています。

ドウランゴの異端者

この村で起きた最も重要な出来事のひとつは、15世紀の「ドウランゴの異端者」の名で知られる史実です。この時、何百人もの住民が火刑に処されました。この史実の証人といえるのが、村の至宝の一つであるクルツィアガの十字架です。

スペイン内戦の傷跡

1937年3月31日。

スペイン内戦のさなか、ドウランゴは無差別かつ計画的な爆撃に遭い一般市民が500人以上命を落としました。

このような爆撃は、この時まで世界的に前代未聞の出来事でした。

この戦争の傷跡は、今でもバレンカレア8番地やクルズィアガ通りのいくつかの家屋に残っています。



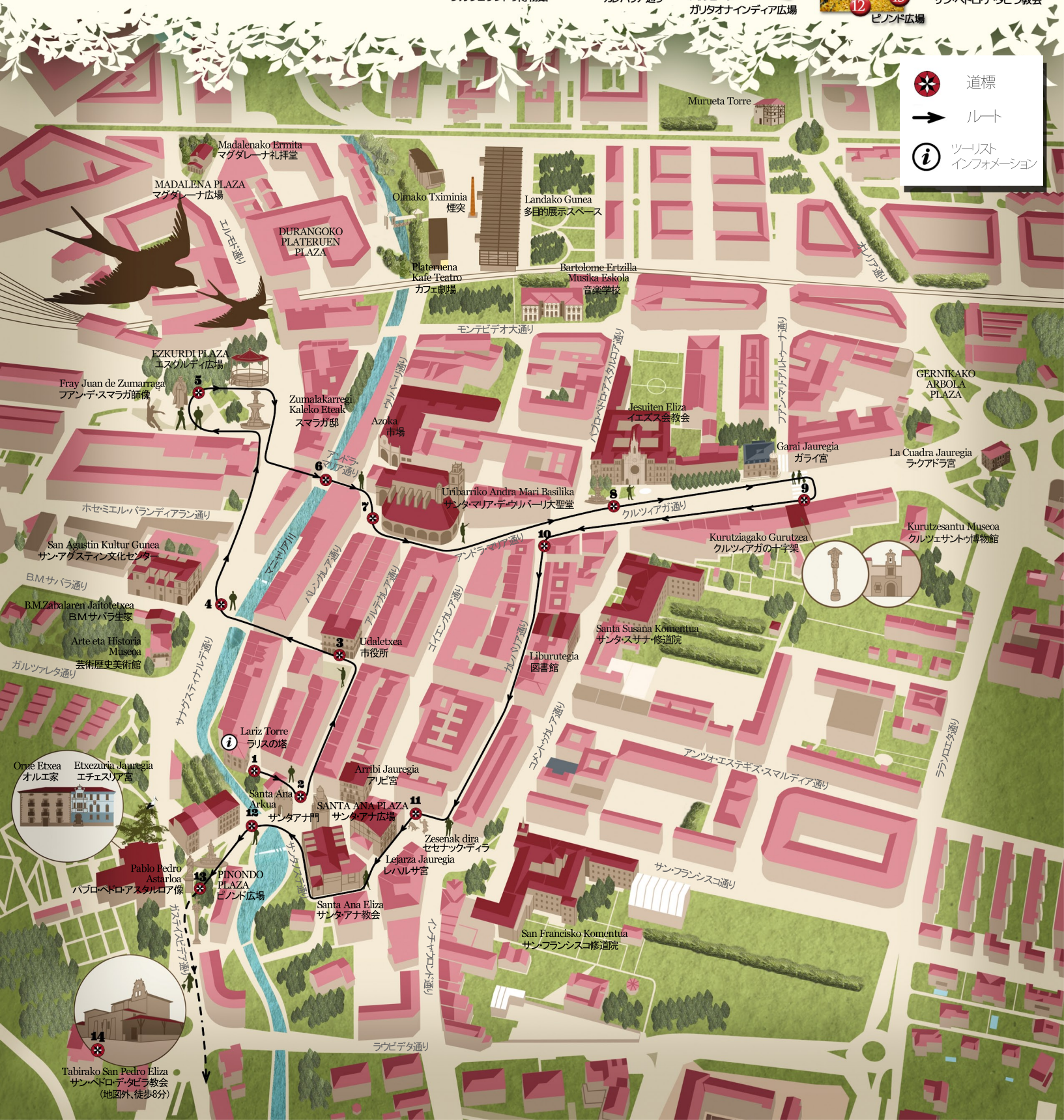
教えて ドゥランゴ



Lariz Torre, 2, 48200 DURANGO, BIZKAIA
TEL 00 34 94 603 39 38
email turismo@durango-udala.net

Obra Social "la Caixa"

ドゥランゴ 観光ルートマップ





1 ラリスの塔

この中世の塔は、1483年、カトリック女王イサベルが、当地で行われた儀式のために訪れた際に宿泊したと考えられています。

中世には5つの塔が存在していたとされますが、現存するのはこれだけとなっています。

高度な建築技術と装飾に富んだルネッサンス様式のこの塔は、15世紀後半に建設されました。

19世紀後半に改装され、刑務所として利用され、その後住宅となりましたが、2009年に修復され、現在は観光案内所として使われています。



2 サンタ・アナ門

このバロック様式の門は、当時の村を囲んでいた城壁にあった6つの門のうち唯一現存するものです。

これらの門は、城壁の内部に入るための唯一の道でした。品物や人の出入りはここで厳重にコントロールされ、疫病がおきたり危険が迫った際には、これらの門は閉じられたそうです。

この門はアラバ県への街道とつながっており、市場門とも呼ばれていました。ドウランゴの人々の日々の糧は、この門によって保障されていたと言えます。



アリビ宮殿

サンタ・アナ広場に位置するこのバロック様式の宮殿は、時計が特徴的です。



3 市庁舎

この16世紀の建物は、市庁舎としては、ビスカヤ県で最も古い物の一つです。18世紀の画家イグナシオ・デ・スマラガによって描かれたいくつかの作品は、コメディ・フランセーズを思い起こさせます。

見どころ
スポット



サンタ・アナ教会

簡素かつ厳粛な雰囲気のあるこの教会は、やはりバロック様式で、この広場にあった村の市場を長い間見守ってきました。現存の建物は1720～1734年に建設され、それ以前には15世紀に建てられた別の教会が広場の中心に位置していました。



4 サナグスティナルデ通り ブルーノ・マウリシオ・サバーラの生家

ウルグアイのモンテビデオを建設したことで知られるブルーノ・マウリシオ・サバーラ（1682-1736）の生家です。

サン・アグスティン文化センター

17世紀にアウグスティノ修道会によって建立された教会及び修道院。現在は劇場として利用されています。



芸術・歴史博物館

芸術・歴史博物館は、バロック様式のエチュサレタ宮殿にあります。館内には15世紀のドウランゴを再現した模型が展示されており、入場無料で火曜日から日曜日が開館日です。



6-7 サンタ・マリア・デ・ウリバリ大聖堂

15世紀後半にカトリック女王イサベルがドウランゴを訪問した際の記録にはすでにこの大聖堂についての記述があります。

中央祭壇の衝立画はルネッサンス様式で16世紀中ごろの作品です。

この衝立にはドウランゴの守護聖母であるウリバリのマリアのゴシック様式の彫刻が施されています。

祈祷席は、カトリック両王の様式で、両端に太陽と月をあしらった天空を象徴しています。

また17世紀中盤に作られた美しい回廊も目を引きま。

この聖堂はバスクの中で最も素晴らしい建造物の一つで、重要文化財に指定されています。



5 エスクルディ広場

フアン・デ・スマラガ師像

ドウランゴの最も著名な人物であるフアン・デ・スマラガ修道士の彫刻は、エスクルディ広場に位置しています。

この修道士は、メキシコ初の司教及び大

司教を勤め、アメリカ大陸に初めて印刷技術を伝えました。

また、インディオの偉大な擁護者としても知られています。

エスクルディ・フロントン球技場

バスクの伝統的スポーツ「フロントン」の最初の球技場は1785年に建てられました。

建設当時のものは、小さな壁が残っているのみです。

現在の屋内球技場では、手にはめる籠型のラケットを使った試合が、主流となっています。



8 クルツィアガ

クルツィアガ・イエズス会教会

1904年にマヌエル・マリア・デ・スミスによって設計されたネオ・ゴシック様式の教会です。

ガライ宮殿

1892年に建造され、フランスのネオ・バロック様式に着想を得た建物です。



9 クルツィアガの十字架 (後述)

10 カレバリア図書館

1826年に建てられたネオクラシック様式の建物で、初等教育が行われていました。ここには市の歴史的資料が保管されています。



11 バルビーノ・ガリタオナインディア広場 セセナック・ディラ (伝統行事)

これは、毎年10月13日に行われるサン・ファウストス祭りの伝統行事のひとつで、400年以上の歴史があります。首に縄をつけた雄牛を旧市街に放し、サンタ・アナ広場まで連れて行きます。



12-13 ピノンド広場

ペドロ・パブロ・アスタルロア像

ペドロ・パブロ・アスタルロアは、18世紀の著名なバスク文学者です。



ミケルディの偶像

ドウランゴで発見されたこの四足動物の彫像は、紀元前3世紀のものであるという説があります。

4本の足は、宗教的・魔術的意味を持つ円盤を支えています。この像のオリジナルはビルバオのバスク博物館に所蔵されており、ドウランゴには、発見された場所にレプリカが置かれています。

14 サン・ペドロ・デ・タビラ教会

12世紀の教会の上に建てられた16世紀の建物です。伝説ではここがドウランゴの起源であるとされ、18世紀以降はサン・ペドロ・デ・タビラとロサリオの礼拝堂が共存しています。



クルツィアガの十字架 は、ドウランゴを知るうえで欠かせない重要な歴史的文化的シンボルです。

全長4メートル以上の砂岩で作られたこの十字架は、15世紀後半から16世紀初頭のもので、ゴシック様式で、フランドルとドイツの影響が明確に見受けられます。

これを製作した人物は、当時の流行に精通していたようです。

この十字架は1954年2月5日に歴史芸術文化財として認定されています。

いくつか複製が存在し、そのひとつは1928年に作られていますが、ドウランゴにあるのはオリジナルです。

1937年3月31日、市民戦争のさなか、ドウランゴはゲルニカよりも少し前に爆撃を受けました。

十字架もその被害に遭い、柱身が割れるなど甚大な損傷を受けたため、ビルバオに搬送され、後に再び元の場所へ戻されました。

1981年にはテロ集団による攻撃を受け、この時、修復不能な損傷を受けました。

ドウランゴの異端者

この十字架製作の由来として最も有力なのは、15世紀に存在した「ドウランゴの異端者」と呼ばれる宗教的分離派集団への贖罪です。

フランシスコ会修道士アロンソ・デ・メジャが、他の修道士たちと異端信仰を広め始め、1437年から1441年頃に聖霊の時代の到来を唱えました。

教会法、統治権や所有権は撤廃する時、精神の浄化により肉体や現世の束縛を取り除く時、神の教えにおける完全な自由を得る時、教会改革が行われるべき時であると唱えました。

この動きは、特に貧しい人や中世後期の危機の影響を受けた人々から多くの支持を得ました。

メジャのメッセージにそれぞれの持つ問題への解決とより民衆に近い教会を見出したのです。

彼らは、カスティージャ王国と教会に激しく弾圧され、多くの信者が火刑に処せられました。

この十字架は全ての異端に対する明確な理念の象徴となりました。

クルツィアガの十字架

CRUZ DE KURTZIAGA



クルツィアガの十字架 鑑賞ポイント

ベラ・クルス信徒会との関連性

この十字架に対する研究では、ベラ・クルス信徒会との関連も指摘されています。

中世ヨーロッパでは、宗教者ではない一般の信者によって運営された信仰団体が盛んになりました。

その一つが、イエス・キリストの磔刑に使われたとされる聖十字架(ベラ・クルス)への信仰を理念とするベラ・クルス信徒会です。

この信仰は、13世紀以降ヨーロッパ全土へと広がり、16世紀のバスクでは非常に盛んであったといわれています。

十字架やキリストの血に対する信仰、良き死への準備、天使たちの救護者・女王としての聖母像などが象徴されており、ベラ・クルス信仰との共通点が多く見られます。

地理的な意義

この十字架は、当時の教会統治における村の境界線としての役割も果たしていました。



図像研究

絵画・彫刻等の美術表現の表す意味やその由来などについての研究する図像学は、中世のキリスト教美術では教義を伝えるために発達しました。その図像学的見地からクルツィアガの十字架を見てみると、『原罪(柱身部分)は、教会生活とその規則(柱頭部分)により、特にキリストの犠牲的、救済的行為(十字架部分)により克服される』という解釈することができます。



十字架裏側：聖母マリア

聖母と手に鳥を乗せた幼きイエスの像です。

アリアの頭上には Sedes Sapientiae（知恵の座）の文字が掲げられています。

聖母の両側には哲学の女神であるアレクサンドリアの聖カタリナと神学の守護聖女バルバラが彫刻されています。

マリア像の下にはアタナシオス司教の像が彫られています。

聖女パウラ

民衆版と呼ばれていた聖書をラテン語に翻訳する手伝いをしたことで知られています。

天使の音楽家たち

天使たちの女王として知られる聖母の上に位置し、信仰心に厚い人々と天空の調和を表しています。

柱身：罪と罰の創世記

柱頭には旧約聖書の創世記、初めての罪と罰が語られています。

蛇 その胴体は柱頭に巻きついており、女性の頭を持った蛇は、イブにりんごを食べよう誘惑します。

女性の頭の上には禁断の果実の木と葉が、不吉な誘惑を象徴しています。

イブと禁断の果実

恥というものを知らない裸のイブは、蛇に進められた禁断の果実を手に入れています。

アダムとイブの墮落

イブは片手で胸を、もう一方の手で性器を隠しています。その肩には神の手が罰を下しています。この部分は、最近発見されています。

アダムのひと齧り

アダムは右手を首に向けて、果実を受け入れたことをすぐに後悔していることを表しています。

イブの追放

天使がイブを楽園から追放しています。



十字架表側：キリストの磔刑

アダムの頭蓋骨は、ゴルゴタと呼ばれる地に置かれました。

磔刑が行われたゴルゴタ・カルバリウム（丘）はヘブライ語とラテン語で頭蓋骨を意味します。

アダムの頭蓋骨の上の十字架伝説ではキリストが架けられ

た十字架の木材は、エデンの園にあった生命の木の種類から出来たものであると言われています。

キリストは、新たなアダムとして、神によって創り出された初めての人間の頭蓋の上に描かれています。

マリアは新たなイブとして、最も愛された弟子ヨハネと共に両側からキリストを支えています。

4人の天使たち

キリストの血をすくっている天使たちの頭にも十字架が施されています。十字架の最後の部分は、太陽と月を掲げた天使たちが見られます。



柱頭：使徒たち、キリスト教義の普及

柱頭には、12使徒と真実の信仰が表されています。また教会と許しへの道も象徴されています。創世記を通して真実は救済へと到達します。

左から右にペトロ、大ヤコブ、ヨハネ、フィリポ、小ヤコブ、マタイ、トマス、シモン、タダイ、バルトロマイ、アンデレとパウロの順に並んでいます。



十字架の土台部分

今日まで複数の修復が重ねられており、ポルトゥガレにあるレプリカと同じく、八角形をしています。

6つの角は6日間の労働日を表し、7つ目は安息日、そしてその翌日、すなわち8日目は復活の日を表しています。